

微刺激策の実施状況監査

田中 修

はじめに

李克強総理は7月16日国務院常務会議を開催し、国務院が打ち出した政策措置の推進状況の監査報告を聴取し、実施・整理・改善にしっかり取り組むよう手配し、責任を強化し、真剣に実施して、実際の効果を挙げるよう努力しなければならないと強調した。本稿では、会議の内容と、李克強総理の発言の一部を紹介する。

1. 会議の概要（新華網北京電 2014年7月16日）

行政に励み信義を守る良好な政治気風を樹立し、既に打ち出した政策措置の実施を推進するため、最近国務院は9組の監査グループを派遣し、16の省（区・市）、27の部門・単位に対して監査を進めた。

総じて見ると、地方・部門は各政策措置の推進について積極的な進展をみており、政策効果が徐々に顕在化し、安定成長・改革促進・構造調整・民生優遇にとって重要な役割を發揮している。

しかし、監査によっていくつかの問題も発見された。それは主として、

- ①一部の政策措置は段階が多く、進度が遅く、一部の地方・部門は手配を重視し実施を軽視している。
- ②一部の幹部は責任意識が欠乏しており、困難に出会うと避けて歩き、不作為を決め込み、責任を担わず、行政の規制緩和をさぼり、ある者は選択的に実施し、象徴的に執行している。

これは、一部の地方・部門の実施に取り組む認識がかなり劣り、作風がいい加減であることを暴露しているのみならず、深層レベルの体制メカニズムの隠れた弊害をも反映するものである。

監査で発見された問題については、法規に基づき責任を追及するのみならず、リストを提出させ、期限を明確化し、責任制を実施し、逐一整理・改善を行い、約束を実行させなければならない。

手配した措置を詳細化する必要があるものは、期限を定めて打ち出さなければならない。実施条件が完全に具備されていないものは、できるだけ速やかに完全実施しなければならない。メカニズムを早急に確立し、責任者を明確にすると同時に、関連法規・制度を整備しなければならない。整理・改善の状況は、期限を定めて国務院に報告しなければならない。決して「お茶を濁す」ことなく、政策措置の全面実施を確保しなければならない。

今年の「政府活動報告」が確定した経済社会の発展主要目標・任務は、中央経済工作会

議が明確にし、全人代の審査で承認されたものであり、人民に対する厳粛な約束なので、完成を保証しなければならない。

各地方・各部門はわが国がなお社会主義初級段階という最大の国情にあることを十分認識し、党の基本路線を 100 年間動揺させないことを堅持しなければならない。経済建設を中心とし、発展を第一の重要任務として、科学的発展の推進に力を入れ、決めたことは首尾一貫し疎かにせず、奮闘し怠けることのないようにしなければならない。

(1) 改革に向けて確固とした動力がなければならない

今年は引き続き行政の簡素化と権限の開放に際立って取り組み、開放と管理を結びつけ、行政審査・許認可事項の取消・下方委譲計画を打ち固め、その実質的価値を高めなければならない。非行政的な審査・許認可を全部取り消し、規定に反して内部審査・許認可に転入してはならない。レントシーキング行為を有効に防止し、腐敗を醸成する土壌を除去する。

投融資体制改革を加速し、社会（民間）資本に開放するプロジェクトをより多く打ち出し実施する。政策を打ち出した際の「最初の 1 キロ」と政策をやり遂げるまでの「最後の 1 キロ」を開通させ、中間段階を有効に減らし、市場の活力と社会の創造力を十分奮い立たせる。

(2) 方向を定めたコントロール措置を実施する際に、持続的に力を発揮しなければならない

実体経済とりわけ小型・零細企業と「三農」への金融支援に関連した政策の実施を加速し、企業の資金調達難・資金調達コストの問題を緩和するうえでできるだけ速く実効が現れるようにする。

前期の施策を加速し、資金等の関連条件の手配を実施し、鉄道・都市インフラ・重大水利プロジェクト等の建設を推進する。

政策の手配・協調をしっかりと行い、対外貿易の安定的成長を促進し、省エネ・環境保護、情報消費、養老、健康、文化の創意・設計等の産業の発展を推進する。

バラック地区の改造、新しいタイプの都市化等の建設を加速する。

大学等の卒業生の就業・起業促進に関連した政策を早急に実施する。

(3) 監査の長期有効なメカニズムの確立に気を配り努力しなければならない

各地方・各部門は、常態化された監査メカニズムを構築し、上下の連動と政策の協調を強化し、第三者による評価制度を確立して、社会の評議・監督を受けなければならない。検出された問題については、断固として整理・改善する。

地方が困難に遭遇した場合には、国务院の関係部門は確実にサービスをしっかりと提供し、解決を助けなければならない。素早く実行し改善することで政府への信頼を高めることにより、各政策を実施定着させ、好い結果を出し、人民に幸福をもたらし、今後の発展のためにさらに好い基礎を打ち固める。

2. 李克強総理の発言

中国新聞網 2014 年 7 月 17 日は、会議における李克強総理の発言を、次のように断片的に伝えている。

「昨年以來、國務院は一連の政策措置を打ち出し、市場の反応は良好であるが、政策が十分に実施されない等の現象が確かに存在しており、一部の好い政策が予期した効果を挙げていない。國務院が議論し政策を決定しても、実行されなければ効果は挙がらない。今後國務院が全面監査を展開する際には、政策実施の『最後の 1 キロ』を解決するのみならず、政策実施の『最初の 1 キロ』をも解決しなければならない。各部門・各レベルの政府はその職責を尽くし、奮闘して成果を挙げ、各政策措置を確実に完全実施しなければならない。

私が末端を視察した際に気がついたことだが、ある地方では『役人の不作為』現象が確かに出現しており、一部の政府役人は『問題が生じないなら、むしろ何もしない』、はなはだしきは『難しいことを避け、楽なことだけを求める』といった態度を抱き、事をいい加減にしている。耳が痛い事を言えば、これは仕事をせず無駄飯を食っているということではないのか？このように行政をいい加減にし、さぼるということは、腐敗と同じであり、国家と人民に対する極端な無責任ではないか！」。

(7 月 18 日記)